

日本社会福祉学会事務局から

● 「学会ニュース」を閲覧しやすく改善しました

「学会ニュース」は、これまで、紙発行当時の版下データのまま本学会ホームページに PDF ファイルの状態に掲載していますが、ホームページで閲覧いただくことを前提に、記事ごとにクリックしていただき、より読みやすいスタイルに改善しました。

今後も読みやすさを求めて工夫していきたいと思いますので、ご意見・ご感想をお待ちしています。

これまで、紙による「学会ニュース」の郵送をご希望されていた会員の皆様には、「2012 年度も引き続き郵送を希望するかどうか」を確認させていただきますので、ご希望の方は 2012 年 3 月末までに、学会事務局までご連絡ください。尚、郵送代はこれまで同様、学会で負担させていただきます。

● 年会費未納の方へ

年会費未納者への対応については、理事会で協議いただき、これまでより、きめ細かく対応することとなりました。これまで、年 1 回しか督促していませんでしたが、年 2 回に増やし、さらにメールでの督促も追加しました。

先日、今年度 2 回目の督促（再請求）をさせていただきました。今年度分も含め 3 年間会費未納の方及び今年度新規入会された方で、入会金・会費が未納の方は、未納のままですと 2012 年 3 月末で、それぞれ、「会員の資格喪失」「入会の取り消し」となりますので、至急お支払いいただきますようお願いいたします。

編集後記

きょうは 1 月 17 日。17 年前に阪神・淡路大震災が起こった日で、テレビでは朝から追悼集会の様子や参加者の声が報道されていた。東日本大震災も含めて、悲しみを抱えて生活してきた人びとが想いをつなげようとしてきたことを、あるいは、そのような想いがつながる場があることを、神戸市民のひとりとして改めて思い出した。

奇しくも、本号には追悼文が 2 編掲載されている。この世界に残ることを許された人間には、故人の想いという「バトン」をリレーのようにつなげていく仕事が残されているのかもしれない。一昔前は『葉っぱのフレディー』、最近では「千の風になって」がブームになったように、ふだんは無関心なようでも、人間は繰り返し「生命」に向きあい、想いをつなげることで人生が豊かになることを学ぼうとしてきた。

「専門的」な技術云々のまえに、ソーシャルワークの中核にも、人びとが想いをつなぎ、紡いでいくための支援があることを忘れずにいたいと思った。

(安井 理夫)